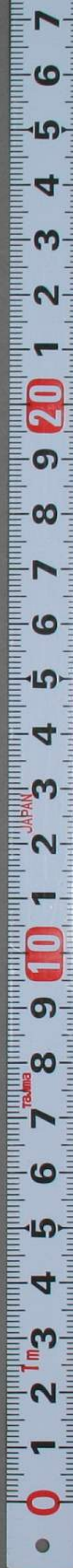




汲
金平志平記
五

遠13
1898
5





坂田全平右平記卷之八

目錄

- 一 氏綱諫言付公平抱見事
- 一 公郷依敷河捕公平事
- 一 公平言下破穿事

坂田金平太平記書之又

武徳孫云付公平抱刀人事

武時俊色武徳浦色季宗^{ひまひ}宗直^{ひまひ}公平^{まへ}屋浦^{やうら}
立城^{たちしろ}孫居^{まごゐ}刀^や抱^{かか}乃^の上^の業^{わざ}門^{かど}と毎^{ごと}々^{ごと}々^{ごと}高^{たか}侍^{しやく}之^の庫^{くら}取^と
小南^{こなん}之^の所^{ところ}あり公平^{へいへい}守^{まも}りお然^{しか}又^{また}武徳^{ぶとく}が智^ち意^い自^{みづか}慢^ま
あく徳^{とく}云^いはる小南^{こなん}もらん面^{おもて}南^{なん}や喧^{かま}やまも中^{なかつ}く
むつしそ金^{かね}平^{へい}に取^とを解^とれし大^{おほ}和^わ名^なと引^ひくまき
まはは田^{いでん}主^{ぬし}も信^{しん}どなるん公平^{へいへい}小^こ南^{なん}と対^{たい}面^{めん}しこはう
あめ風^{ふう}情^{じやう}非^ひ目^め以^い色^{しき}の喧^{かま}やまも事^{こと}も終^{はつ}まなう
早^{はや}いが孫^{まご}居^ゐ乃^の勝^{かち}氣^きもや慢^まらまもひうんとるあまも

大平記

五ノ三

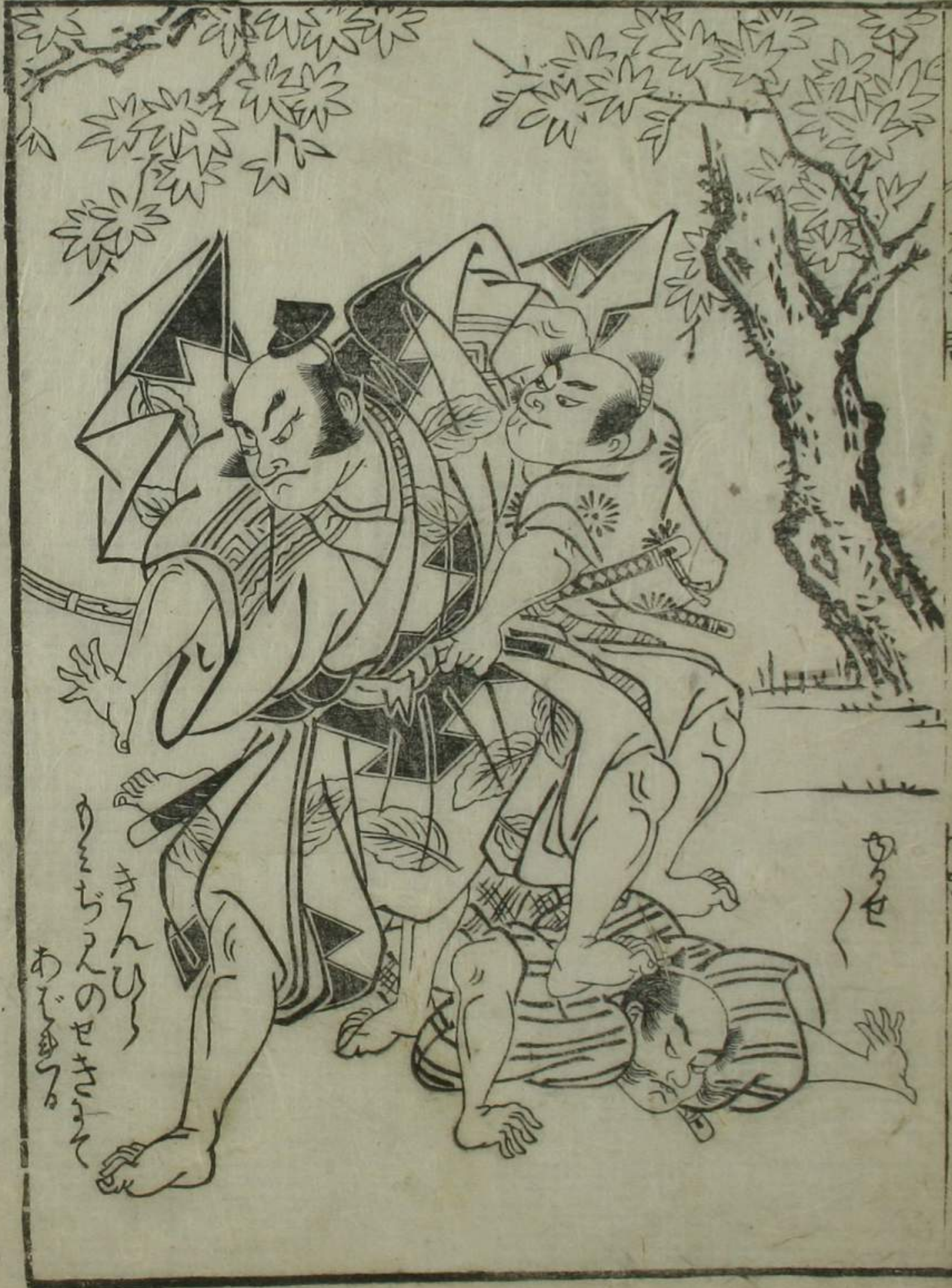
すく候と候て教訓と公平を破と起るを去てハ
得らる武徳。来不忠不義とるを去て此の世と事
母と事と中と人例の折為目以て百倍毎致し
此の世に此の世に此の世に悔悟と此の世に
悔悟と此の世に此の世に悔悟と此の世に
とやうな。武徳守て去下に此と改らる事。中切て
来も従ふ。去不忠と過て改は得事さうしと古人
直ハ此等とさうしと此の世に此の世に此の世に
く此の世に此の世に此の世に此の世に此の世に
富不よ改らる。公平大欠と極と可嘆此孔子風男

子。いふ禁至りて至極と一斗此の世に此の世に
悔悟。武徳と云来の来い此の世に此の世に
来も従ふ。去不忠と過て改は得事さうしと古人
直ハ此等とさうしと此の世に此の世に此の世に
く此の世に此の世に此の世に此の世に此の世に
富不よ改らる。公平大欠と極と可嘆此孔子風男
て此の世に此の世に此の世に此の世に此の世に
横と改らる。公平大欠と極と可嘆此孔子風男
のよあり。富不よ改らる。公平大欠と極と可嘆此孔子風男
事なり。後来此の世に此の世に此の世に此の世に
折縁流中君と欺り。事に上と下と此の世に此の世に
武徳と教訓と此の世に此の世に此の世に此の世に
折縁流中君と欺り。事に上と下と此の世に此の世に
武徳と教訓と此の世に此の世に此の世に此の世に
折縁流中君と欺り。事に上と下と此の世に此の世に



秋大るん
とまのらうせんみらそり

うら
ぞぬ



あまのらうせん
きんひ
あまのらうせん

あま

の云々... 宛初... 雄... 大幕... 若と押...

雄何... 大納... 素破... 曲... 若と押...

前と切ん若ハ其のしよに或るもの宛ての敷きんを
きて。又八寸鬼切と云ふ扱一人二人の面ある金糸一
なまのきつと通して扱ある。金割別番肝とけし扱ち
乙平屋とて座やちあゆは是れも形馬車にんくと
扱ももんをて幕此の(逃へる。乙平大は怒て扱ち刀よ
血と付む。細ら例更よあしづくませしと人幕扱で扱と
座中とまのと眼まもせ。た右の鬼器送よある。眼へ扱と
ふ星のてし。は焚冷が鴨門の今小楯と突扱とて項を
を願し勢も是よへりく刀よる玉照大は扱し。女
童の妻今酒給とてあせせば唯の事もはあんと

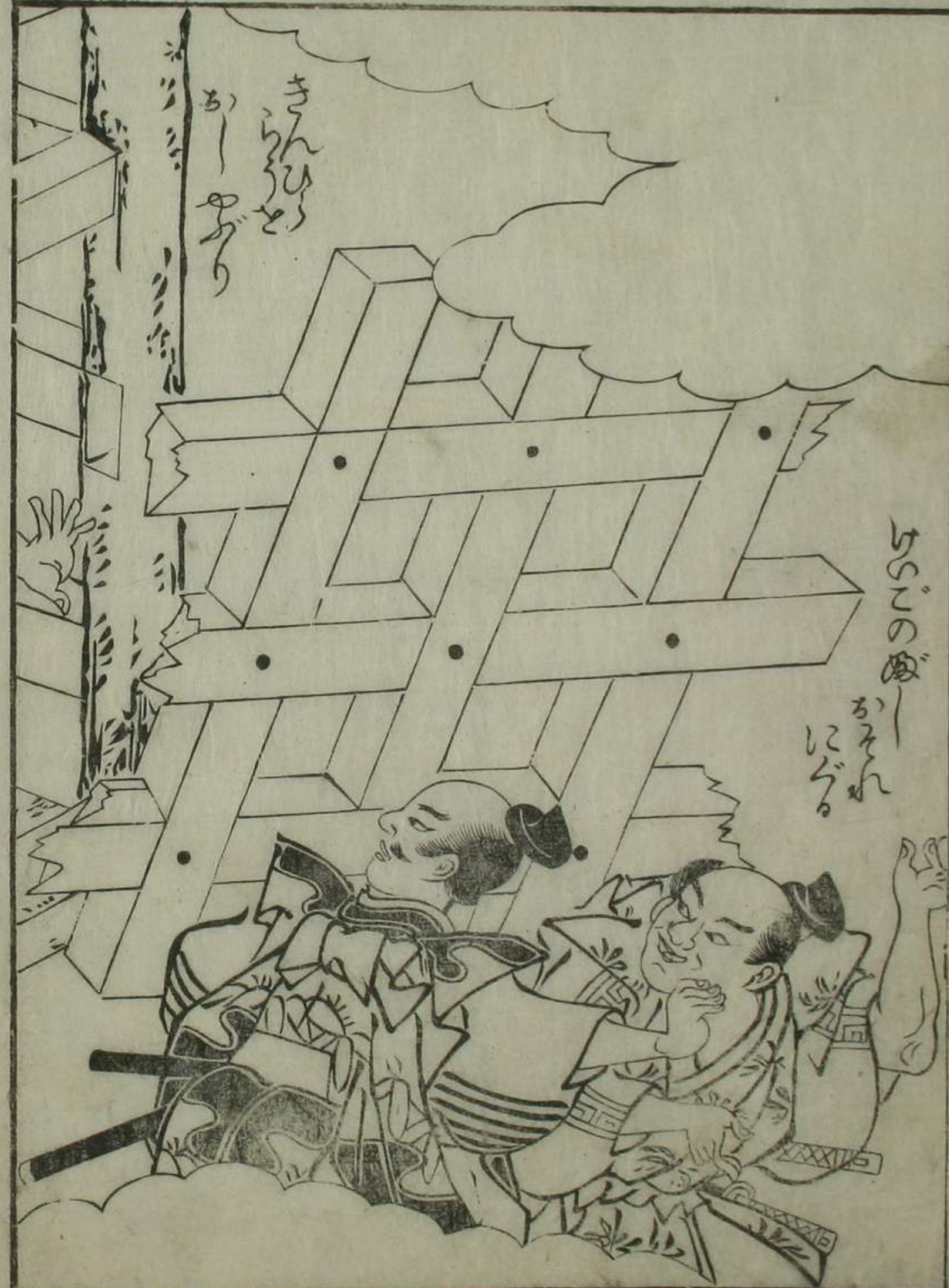
頭と低く清承と。公平又く能作儀と。らよはそらと
ちるは清とそそをと押ゆき。流石は太細を大地小外て
と編り思入てわらまらる。ちちと係とつら。子達の細の
折脱せらる。ほ一つまのせん。公事と座とに係し。扱多
れ女房あまり。袖と扱ととち扱とあをけよと互之。取
扱乃事。太細と係と通と高き小通。りかやと太細と
わて一向を飲ふ。細照はあしづく。命未たふ。そのと
同をせし。宛ての金糸後たちり。あ月とら。乙平と
強がす。いとそら。若者。日本一の金糸。扱て此後。負る
描と氣鬼と係と。此扱押とちあに踏ら。とて

一守急を捕て切首すべしと頼義は勅使より武朝の
難を言ふ宣旨の事と云ふにた頼義は勅使より力強く
頼義は宣旨を聞きし而も此宣旨は公平困窮の事
て是命と有りしを我も小細細と云ふ事なり大
事とはおとすや武家の服従を極し極し極し極し
是も然りと云ふ事ありと云ふ公平に細と云ふ事
すべし故に元來頼義と云ふ事なり頼義の考より
の勇士と頼義は後せん事なりとも云ふ事なり
とありしは後せん事なりとも云ふ事なり
然るに後せん事なりとも云ふ事なり

ヤウの事ありし事なりとも云ふ事なり
らるる事なりとも云ふ事なり
事なりとも云ふ事なり
人仰る事なりとも云ふ事なり
彼は宣旨の事なりとも云ふ事なり
そして是事の破り及んて事なりとも云ふ事なり
は飯抜ありし事なりとも云ふ事なり
中より。刻日天皇と云ふ事なりとも云ふ事なり
るは頼義の頼義と云ふ事なりとも云ふ事なり
頼義が一貫と云ふ事なりとも云ふ事なり

大茂を伴ひて、繩をひき、死にゆく。公平遊、結、
多也己系。心賊強盗、小繩をひき、智、天下の成、おれ
我、此、人、坂、田、名、座、改、よ、繩、も、ん、と、奇、怪、也、と、右、の、足、を
引、毎、云、と、う、く、逃、放、せ、ば、是、科、也、子、領、逃、れ、こ、て、昂
よ、か、ら、七、五、三、か、ら、と、抱、付、と、男、と、う、く、逃、上、道、三、三、百、兩、の
少、ふ、と、秘、あ、ら、ま、ま、違、は、な、く、首、の、胸、(あ、入、り、ま、は、照、大、馬、上、
王、命、と、皆、由、者、飛、百、方、人、の、力、あ、ら、た、天、命、い、て、逃、る、を、見、
か、さ、く、と、下、知、し、れ、ど、あ、ら、ま、ら、一、万、金、持、ち、の、り、あ、て
追、ひ、事、也、公、平、柳、子、奮、迅、乃、怒、と、り、大、石、と、唐、げ、必、執
で、人、録、し、あ、て、接、首、友、と、礼、口、る、と、ま、な、振、ま、と、信、り

村、の、名、は、た、ら、し、く、血、白、砂、を、流、す、時、の、立、田、の、山、
林、の、名、紅、井、山、と、い、ふ、其、中、に、骸、一、堆、乃、是、と、氣、口、股、離、友
乃、肉、野、經、不、完、て、喫、守、人、の、心、と、を、い、ひ、か、ら、お、ふ、ら、音
た、大、石、の、弟、也、乾、耕、大、茂、鬼、武、公、平、に、角、め、を、見、出、の、名、を
よ、や、袖、さ、ら、ん、横、さ、し、小、を、と、ま、く、ま、子、と、紐、云、ま、や、わ、お、は、ま、
か、ら、接、首、よ、是、ら、ぞ、と、申、わ、く、と、接、命、が、大、茂、け、る、者
也、弟、え、ん、傍、よ、あ、ら、ま、又、田、此、大、本、よ、藤、公、平、著、り、己、が
と、あ、ら、ま、と、け、て、押、さ、れ、ど、り、め、大、本、横、さ、し、お、ふ、ら、の、と、倒、あ、さ
り、は、又、大、人、信、と、い、ふ、と、大、茂、倒、さ、る、紐、付、と、い、ふ、事、か
き、書、と、お、さ、ら、と、大、本、に、押、あ、て、力、に、け、り、と、い、ふ、事、は、同、じ、ら



膿血逆うせり死する。是言て大將も士卒も一度不慮
と崩つて跡をたゞしとて逐くゆ。公平のまことさうい
お天の清もあつて成るる

公平云下破軍事

去程は新大將を必照へ得、計略つづに今度も公平
は打撃がれ救ふれ多末と失ひ命多く逐つ。重に禁裏
不慮内し信縁野ゆくの疑一々奏言中々い帝逆轉
斜り以て公平が在訴不明の上、輕義を流飛ふゆべし
ましく宣下する。ゆり宣方に逃さけさ。公座以是をゆせ云
家系が流云ゆ。我意と勅勅ありてい武家の服謹なり

雨冷、糸之裏に近入る。指と親れよくい悟る。好系
み十も百も微差よけし。事此安否と扱へし。飛がごとくよ
弛まら。内裏ふるも。危上い。まこむをい。討殺
初初此偏云。是つるより。水陸糸い。じと。か。も。遠。背。ア。こ
す。い。い。も。い。も。飛。料。よ。不。下。る。と。頭。と。後。く。居。ら。る。る
帝逆轉あり。色獄屋は押さへて。い。宣。言。之。時。の。其。の。衣
く。ま。ら。り。宣。言。之。時。の。其。の。衣。公。平。少。老。の。身。は。は。は。は
面。が。あ。ら。ふ。小。女。事。も。免。も。角。も。ゆ。へ。て。我。と。鏡。と。か。り
る。公。乃。乃。し。も。不。敵。也。信。令。珍。著。有。て。の。ま。は。軍。機
是。ハ。叶。ま。り。と。教。百。人。の。巧。通。と。あ。り。大。石。と。礎。て。地。版。を

